

# 辻堂 青少愛だより

## 情報交換会

### 「不登校」子どもの力を信じて」

7月6日(水)に辻堂市民センターにおいて、NPO法人自由創造ラボたんぼの米澤氏より「多様な学びを地域で支える」不登校、ひきこもりの現状」についてお話を聞くことができました。米澤氏はご自身の経験から、不登校の子どもたちの居場所を提供する活動をされています。

特に印象に残ったのは「ありのままを認める」という事でした。学校に



講演会の様子

編集・発行  
辻堂地区青少年育成協力会  
事務局  
辻堂市民センター  
TEL(34)8661

行きたくなければ行かなくても良いし、ゲームをしたければしていても良い。好きな事をして、エネルギーが満タンになれば、自分で立ち直る力を子どもは持っているとお話でした。焦って無理やり学校にいかせても、また学校に行けなくなり長期化してしまう事が多いそうです。

その他、海外と日本の教育の違いについてもお聞きし、大変考えさせられた講演会でした。

## ☆視察研修会☆

### 「めざせ！エコ達人」



1階床一面の航空写真

梅雨入り前の6月9日、川崎市の浮島にある、「かわさきエコ暮らし未来館」へ視察研修会が訪れました。中へ入ると1階の床一面に川崎市のリアルな航空写真に少し足がすくみました。今立っている浮島は、ゴミを埋め立ててできた土地だということ、そして日本全体でもあと20年ほどで満杯になり、ゴミを埋め立てできなくなるということにまず衝撃を受けました。

2階の体験型展示スペースでは、地球温暖化、再生可能エネルギー、資源循環について見たり、触れたりしながら学ぶことができ、これはぜひ子どもを連れて来たいと思いました。そして一番の衝撃は3階スペースで、実際に川崎市各地から運ばれてきたプラゴミをコンベアで流し作業員の方々が手作業で異物を取り除いている場面でした。包丁など危険なものもたまに入っているそうで、私達一人一人の意識改革が大事だとつくづく感じました。



かわさきエコ暮らし未来館にて

## 「例大祭夜間パトロール」について

湘南工科大学附属高等学校 渡邊 一弘

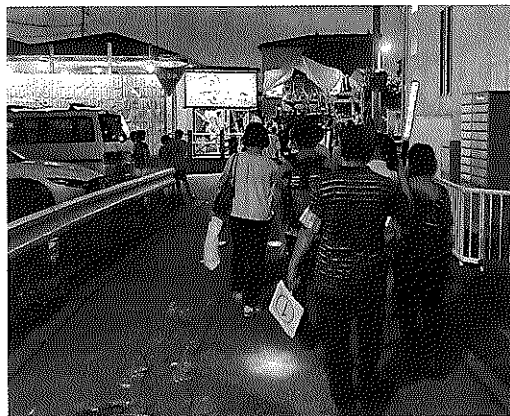
例大祭の夜間パトロールに初めて参加させていただきました。

当日は多くの子どもたちが訪れて大盛況となりましたが、これも地域の皆様の「尽力」ご協力の賜物だと思います。

最近の子どもたちは、スマートフォンを片手に、自宅にいながら多くの人のコミュニケーションが可能となつていきます。そんな日常を過ごしている子どもたちも、例大祭では多くの人とスマートフォンなしのコミュニケーションをとりながら、貴重な時間を過ごすことができているのではないかと思います。

近年は地域のお祭りそのものが中止になったり、人手不足により開催そのものが危ぶまれたりしている現実があります。例大祭は現代の子にとつて貴重なコミュニケーションの場になると思います。

学校・保護者・地域そして子どもたちが交流し、一体となって活動する場として受け継がれ、例大祭がより盛大に開催されますことを心より願っております。



パトロールの様子

## 事業報告

○みらい子どもフェスティバル少年の森(5月5日)  
本会役員が参加・協力

○定期総会(5月11日)

○視察研修会(6月9日)  
かわさきエコ暮らし未来館

○情報交換会(7月6日)

「多様な学びを地域で支える」  
「不登校、ひきこもりの現状」  
NPO法人 自由創造ラボたんぼ  
代表 米澤美法氏

○夜間パトロール(7月26日)  
辻堂諏訪神社の祭礼にあわせてパトロール

○公民館まつり(10月29日・30日)  
模擬店出店・啓発物品配布

○講演会(2月4日)

「私の人生を変えた2人の母の言葉」  
一般社団法人J.C.M.A 吉井奈々氏  
高浜地域子ども支援会議・  
ネットワーク湘南堂夢との共催

○「青少愛だより第35号」の発行

○役員会 年7回開催

○各種団体会議

学校・家庭・地域連携推進事業、  
砂山・辻堂児童館、八松子どもの家、  
公民館まつり、辻堂まちづくり会議等

○各種街頭キャンペーン

○青少年育成市民のつどい参加・協力

○藤沢市青少年育成協議会会議年4回



# 地区の校長先生のごあいさつ

## 「地域の学校と」

高砂小学校長 東 麻子

着任からもうすぐ1年となります。日頃より地域のみなさまには子どもたちや学校が大変お世話になりました。ありがとうございます。

小・中・特別支援学校が隣接する落ち着いた環境の中で、子どもたちはおかげさまでびのびと育っています。辻堂市民センターも近く、子どもに関する多くの会議が開催される度に、地域からのご支援を心強く感じています。

高砂小学校は今年度辻堂地区で初めてコミュニティ・スクールとなりました。地域に開かれた学校づくり、地域との相互理解や連携を深めていくことも求められています。これまでも地域で学校を支えていただいたつながりを大切に、保護者・地域・学校が子どもの健やかな成長を願い協同していけるよう努めてまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。



## 「地域・人とのつながりを大切に」

白浜養護学校長 澤野 美奈子

今年度白浜養護学校に着任しました。本校は小・中・高等部の3つの学部があり、藤沢市内全域から児童生徒が登校しています。いつも地域の皆様、本校の児童生徒達を地域の子どもとして、あたたかく見守ってくださいることに感謝申し上げます。

辻堂市民センターでの高等部が製作した製品販売では、皆様にお褒めの言葉をいただき、生徒達の励みとなりました。辻堂海浜公園への歩行学習時のあたたかなまなざしやお声がけなど、皆様とのつながりが、子どもたちの社会生活を豊かなものにし、自信につながります。子どもたちが生き生きと活動し、幸せに生きる力を育む学校でありたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

## 表彰おめでとうございます

令和5年2月25日「神奈川県青少年育成活動推進者表彰式」にて「青少年活動推進者表彰」として、本会で次の方が表彰されました。

永田 亜由美さん

青少年の健全育成、非行防止に關しご尽力されている方です。心からお祝い申し上げますとともに今後のご活躍を期待しております。

# 第45回 辻堂公民館まつり

10月29日(土)・30日(日)、秋晴れの下、第45回「出会いふれあい潮風のまち」をテーマにした、辻堂公民館まつりが3年ぶりに開催となりました。新しい庁舎で、初めての開催という事もあり、両日共に、大勢のお客様がお見えになり、活気があり、楽しそうな笑顔であふれていました。本会では、屋外テントにて、焼きいも、綿がし、ポップコーンの販売を行いました。特に綿がしは、子どもたちにも大人気で、長い列が途切れなく、2日目にハプニングが起り、お客様を長い間、お待たせしてしまいました。次回の祭りでは、このような事が起こらないように改善していきたいと思えます。テントの中では、



公民館まつりの様子

## 合同講演会

### 「私の人生を変えた2人の母の言葉」

2月4日(土) 辻堂市民センターにおいて、高浜地域子ども支援会議、ネットワーク湘南堂夢との共催で、一般社団法人JCM A代表理事の吉井奈々氏による、言葉の大切さと幸せの多様性をテーマとした講演が行われました。

「オネエの話聞いてくださいね」から始まった吉井氏の講演は、ご自身の子ども頃の頃のつらい思い出やこれまでのさまざまな経験の中、2人の母(生みの母と職場のママ)からの言葉を支えに生きてきた彼女の人生を語るものでした。幸せの形はみんな違っていい、いつも自分のための選択をしている、自分が自分を好きでいよう、と気づかせてくれたそうです。



合同講演会の様子

感染症対策に気をつけながら、本会委員、辻堂地区小・中学校PTA保護者が協力して取り組む事が出来ました。ご協力ありがとうございました。

- ### 青少年指導員活動報告
- 青少年指導員は、青少年の非行防止推進を目的としたパトロール等を主とする「街頭指導部」と、工作・伝承事業等の体験活動を通して青少年の健全育成に取り組んでいる「育成部」で成り立っています。
- パトロールは月に2回、通学路や公園を中心に子どもたちの様子を観察しつつ声かけを行っています。
- 今年度は、学校や地域も徐々に日常に戻りつつあり、規模を縮小してはありましたが行事等も開催されたものもありました。
- 人が街中に出てきたのと同時に、不審者情報も出てきています。警察や市の職員もその都度、パトロールをしています。子どもが一番身近にあるご家庭や学校、そしてそれを取り巻く地域で連携し、目を光らせて子どもたちを守っていかれたらと思います。
- 体験活動については、感染予防対策を十分に行いつつ工夫を凝らし、予定していた年間行事を、ほぼ開催することができました。まだ、大勢の歌ったり体を寄せあったり、皆で調理して食べたりといったことはできませんが、参加した子どもたちからは、コロナ禍前と変わらない元気な声と笑顔がみられました。
- #### 今年度の主な活動
- 「こどものひろば」つくってあそぼう
  - 「夏の工作教室」
  - 「芋ほり」
  - 「クリスマスをつどい」
  - 「初笑い」
  - 「中学生のつどい」
  - 月2回パトロール
  - 地区の環境調査
- また、辻堂青少年会館(つじせい)、辻堂児童館(つじどうむ)、辻堂砂山児童館(ぐうちよきばあ)、八松子ども家(まつほつくり)の運営委員としても活動しました。

